

# 市民への十分な説明と財源確保に全力を

## 地域事業費削減問題で13区議員が市長に要請

「地域事業費は13区が合併する時の判断材料のひとつだったはず。後退する方向に見直しされるのは憤まんやるかたない」「いま中学校の校舎を造っているが、このままだと体育館までたどりつかない」……13区選出の議員の声が市長応接室に響きました。

13区議員の会(代表世話人吉田侃市議・中郷区選出)は16日、地域事業費の減額を少しでもくいとめたいと市長に要請しました。これは、旧上越市や13区に配分されることになっている地域事業費を約20%削減する提案が行われていることに危機感をつのらせてのことです。市当局では、合併後10カ年にわたる新市建

設計面の財政フレームが地方交付税の大幅減額や市当局の甘い見直しなどによって修正を余儀なくされているとして市議会総務常任委員会に具体的な案を示してきました。吉川区に関しては、既報の通り、昨年1月に確定した24億8千万円から5億4800万円を減額(率にして22%減)して19億3000万円にする数値が示されています。

編入された地域から選出された13区の議員は18名ですが、この日は、都合のつかなかった6議員を除く12議員が参加、全員が発言しました。柿崎区選出の議員は「今回は23%も減額された。3人も議員がいながら何しているんだと言われている。何とかしてほしい」と訴えていました。私は、13区議員の会の事務局を担当していることから、この日は最後に発言、「ある程度の見直しはやむをえない」と思っているが、市道整備などができなくなるのではという不安が高まっている。財源確保に全力を」と訴えました。

各議員からの要請に木浦市長は、「市民にとって悪いことは早いうちに情報を明らかにした方がいいと判断した。不要不急のものは早くきちんと見直ししながら、財源を確保していきたい」とのべました。

参加した議員の中からは、「市長は今回の合併の最高責任者だ。なぜ今回のような事態になったかを市長が先頭に立って市民に分かりやすく説明する責任がある」とにかく、財源



木浦市長に要請する13区選出の各議員。16日、市長応接室にて。

確保に向けて全力をあげてほしい」などという声が出ていました。

### 定例市議会は28日から

左表のとおり、12月定例議会が11月28日から始まります。会議はいつでも午前10時



開会。傍聴にお出かけください。本会議はケーブルテレビ11チャンネルで放送されます。写真は今年も見事な黄葉を見せてくれた山方・敬徳寺のイチヨウ。

| 月 日 (曜)    | 会議名     | 会議室名   | 備考             |
|------------|---------|--------|----------------|
| 11月28日 (水) | 本会議     | 議場     | 提案理由説明<br>総括質疑 |
| 11月29日 (木) | 建設企業委員会 | 第1委員会室 | 付託案件審査         |
| 11月30日 (金) | 文教経済委員会 | 第1委員会室 | 付託案件審査         |
| 12月 4日 (月) | 厚生委員会   | 第1委員会室 | 付託案件審査         |
| 12月 4日 (火) | 総務委員会   | 第1委員会室 | 付託案件審査         |
| 12月 5日 (水) | 本会議     | 議場     | 一般質問           |
| 12月 6日 (木) | 本会議     | 議場     | 一般質問           |
| 12月 7日 (金) | 本会議     | 議場     | 一般質問           |
| 12月10日 (月) | 本会議     | 議場     | 一般質問           |
| 12月11日 (火) | 本会議     | 議場     | 一般質問           |
| 12月13日 (木) | 本会議     | 議場     | 付託案件採決         |

2003年10月16日に設立された東京吉川会が18日、15回目の総会を迎えました。当日の東京の天気は晴れ。会場となった四ツ谷のスクワール麹町には約100人が集まりました。

集まった人たちは関東へ出て暮らしている吉川区出身者が殆んどです。高齢化が進み、設立時の200人に比べれば、参加者数は減ってきていますが、関澤英世会長をはじめ、故郷を想う人たちの頑張りでの会の活動は続けられてきました。

参加者の多くは、何よりも郷土の情報を一番知りたがっている会員さんたちです。佐々木博一総務所長などの口から語られた中越沖地震の被害状況やコシヒカリが1万円に下落した話などはじつと耳を傾けました。会場では、同級生や同じ集落出身者と楽しく語り合う姿があちこちに見られました。参加者は、吉川区から出かけた人たちによる日本舞踊や

会員さんの身内の人たちなどによる踊りを楽しみ、最後は「吉川町音頭」が流れるなかでみんな

踊りの輪をつくりました。

総会が終わって関澤会長は、「いろんな人から楽しかった、楽しかったという声があがりましたから、やはり楽しかったんだと思います」と東京吉川会の役員や吉川区から駆けつけた私たちを前にして挨拶されました。とてもうれしそうでした。

私は、この総会には確か5回目の参加だと思えます。いつも新たな出会いがあり、懐かしい人との再会もあるので楽しみにしています。この日は東田中地区出身のKさんが声をかけてくださいました。なんでも、私の『春よ来い』（同時代社）を読んで故郷が懐かしく思い出されたとかで、私に会いたかったのだそうです。うれしい出会いでした。代石出身の人たち（写真左）や旧源中学時代の先輩のみなさんたちとは1年ぶりの再会です。先日の吉川高校の閉校記念式典のことや地震の話

などをしました。

それともうひとつ、この会には来賓として参加していただけます。壇上の出し物を至近距離で見ることができます。昨年は女性歌手のすばらしい歌



話題となったバリ踊り

## 東京吉川会が発足して15周年になりました

地元吉川区からも15人が参加して盛大に祝賀会



をすぐそばで聴くことができません。しかし、今回はバリ踊りを3メートル離れていかに観させていたか、指の動きや目の動き、そして激しく揺さぶる腰の動きに、びっくりしました。来年ぜひ参加したいと思います。